

指導例：日本の諸地域『九州地方』（第2学年 第1時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○日本地図から、九州の自然環境に関する大まかな特色（「気候」「地形」「火山」など）を確認する。

T：今日から「九州地方」の学習をします。単元の始めは何をしますか。

S：資料を基に「単元の課題」を設定します。

T：「九州地方」は自然環境をテーマとして学びます。

〈めあて〉九州地方の自然環境に関わる資料を基にして、単元の課題を立てよう。

めあての設定

○九州地方の自然環境の特色がつかめるよう、気候や地形の特徴など既知の知識を活用し問いかける。

2 本単元の社会的事象に関わる資料を基に、一人一人が疑問や調べたいことを考える。

○九州地方の自然環境に関する資料（新聞記事、映像資料、グラフなど）から、群馬県と九州地方の共通点と相違点について気付いたことを発表する。

T：これらの資料からどのようなことを考えましたか？

S：群馬と同じように山が多く火山がある。

S：桜島の爆発回数が1,000回もある。

S：困る。生活できない。逃げなくちゃ。

S：どのように生活しているのだろうか？

課題意識が高まる資料



○桜島の噴火回数など、生徒の既知知識とのずれを生じさせたり、驚きがある資料を提示する。

3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。

○一人一人が九州地方について調べたいことを発表する。

S：なぜ、火山がこんなに噴火しているのに生活できるのだろうか？

S：火山を利用する方法ないのかな？

S：火山灰が降るのに農産物はだめにならないのはなぜ？

○発表内容について、関連付けや分類を考える。

T：みなさんの発表を見ると「火山」がキーワードの様ですね。

疑問点

- ・火山灰が降るのに農畜産物がダメにならないのはなぜ？
- ・どうして火山の近くで生活できるの？
- ・他地方と比べて農畜産物の生産が多いのはなぜ？

調べたいこと

- ・火山への対策
- ・火山に近い所の農業・畜産の工夫
- ・火山の利用の仕方

焦点化に向け

○社会的事象について学級全体で疑問点や調べたいことを共有できるように、一人一人の考えを板書で整理し、キーワードを設定する。

〈生徒の疑問点を基に調べたいことをまとめた板書例〉

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○キーワード化した生徒の発言を基に、単元の課題をまとめる。

T：みなさんの発言した内容からどのような「単元の課題」がよいと思いますか。

S：「火山」という言葉が数多く出ているので、自然環境と生活や産業の関わりについて調べる「単元の課題」がよいと思います。

【単元の課題】九州地方の自然環境と生活や産業には、どのような結びつきがあるのだろうか。

○本時の学習の振り返りをし、これからどのようなことを調べたいかを記述するよう促す。

S：火山の噴火回数にはびっくりしたな。

S：人々はどのような生活をしているのか調べたいな。

「単元の課題」の型

○九州地方の自然環境と生活や産業の関わりを追究する「どのような」型の課題を設定する。

指導例：日本の諸地域『九州地方』（第2学年 第2時）

1 本時のめあてをつかむ。

○前時の振り返りと、本時につながる資料を確認し、本時の学習の方向付けを行う。

T：今日も「九州地方」について学習をします。前回の学習ではどのようなことを学びましたか。

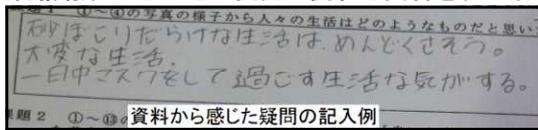
S：火山の爆発回数や生活が大変そうということです。

T：では、今回は「九州地方の人々の生活」をテーマとして学びます。

〈めあて〉 火山活動の影響を受ける中で、人々はどのような生活をしているのだろう。

2 解決に必要な情報を集め・読み取る。

○火山や温泉数、災害情報、エネルギー開発に関わる資料を、生活へのプラス面とマイナス面という視点で整理する。



3 整理した情報を基に考察する。

○整理した情報を基に小集団で話し合い、火山と暮らす人々が、火山と共存している理由や工夫について考える。

T：資料からどのようなことが読み取れましたか。班内で発表し、ホワイトボードにまとめましょう。

S：温泉が多く、観光客が来そう。

S：地熱発電がある。

S：農作物がダメになる。

S：清掃が大変。

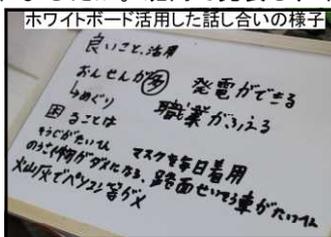
S：マスクを着用して大変そう。

○各班のまとめを発表し、学級全体で話し合い、考えを広げたり深めたりできるようにする。

T：他の班の発表を聞いて何か質問などはありますか。

S：A班 職業が増えるのはなぜですか。

S：B班 観光客が来るから観光の仕事が増えたり、毎日清掃が必要だから清掃の仕事が増えると思いました。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○黒板に掲示された他の班の考えなどを基に、一人一人がワークシートに本時の振り返りをする。

T：他の人や班の発表も踏まえ、今日のまとめをワークシートに書きましょう。

指導のポイント

めあての設定

○前時までの学習内容や生徒の疑問などを基に、本時で解決したい課題について、生徒の言葉を基にめあてとして設定する。

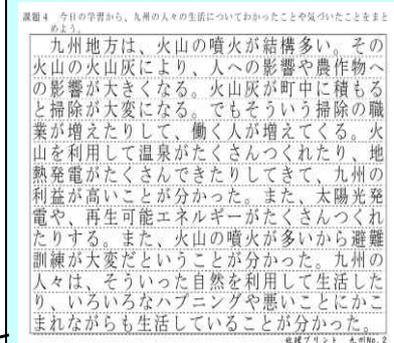
考えたことを話し合う

○一人一人が調べたことを、小集団や学級で話し合わせ、内容を整理しまとめやすいように、ホワイトボードを用いて、思考を視覚的に分かりやすくする。さらに発表内容に教師が問い返したり、他の生徒に質問をさせたりすることで、考えを広げたり深めたりさせる。

一般化するためのまとめ

○社会的事象について学級全体で共有できるよう、各班の発表を基に生徒の言葉でまとめさせる。

視点を示した振り返り



○火山と生活を意識させた学習の振り返りをさせる。本時の学習で自分の考えと他者の考えを比べたりしながら振り返ることができるよう工夫する。

指導例：日本の諸地域『九州地方』（第2学年 第6時）

1 本時のめあてをつかむ。

○単元のまとめとして、九州地方の「単元の課題」について結論を考

えることを確認する。
T：今日は「九州地方のまとめ」の学習をします。今までのような

ことを学習してきましたか。

S：いろいろな資料から九州地方の自然環境について調べてきました。

T：では、その資料を活用し、PRポスターを作成しましょう。

〈めあて〉九州地方における単元の課題について、資料を活用し、

分かったことや考えたことを整理しよう。

2 学習してきたことを基に、一人一人が「単元の課題」に対する結論

を考える。
○各単位時間に習得してきた具体的な事実に関する知識などの共通点

や関係性を整理する。
T：今までの学習で、これらの資料からどのようなことが分かりまし

たか。
S：火山と共存している。

S：温暖な気候や火山を生かした農業をしている。
S：大陸に近いという条件を生かした観光や工業が行われている。

S：台風が多いけど、自然環境を生かした観光が盛んだった。

3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

○班や学級全体で発表し合い、その結論

や根拠の妥当性、共通点や相違点を考

える。
T：それぞれがまとめた内容を発表しま

しょう。他の人の発表を聞いて、同

じところや違うところがあったら、

メモをしておいて、後で意見を述べ

たり質

問をしま

しょう。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○発表内容を基に「分かったこと」

「気付いたこと」を考える。
T：みなさんの発言した内容から

どのようなことが分かりまし

たか。

S：自然環境と人々の生活が結び

ついていることが分かりまし

た。

S：中国に近いことが工業や観光

に大きく影響していることが

分かりました。

S：台風や火山はマイナス面だけ

でなく、プラス面もあること

が分かりました。



課題4 今日学習から九州地方の学習全体を通して、南西諸島についてわかったこと

や気づいたことをまとめる

九州地方では、自然環境上不利なところも
ありますが、それをうまく使っている
わかりました。例えば、火山。火山は火山灰
や火山礫が降ってくるかもしれませんが、そ
で掃除も毎回やらなくていいので、とても
大変です。でも、そんな火山をいらない
大ろで活かしているのです。一つは温泉。そ
で地熱発電。この二つは火山の熱を利用し
て発電です。さらに火山灰がたまったところ
には、水がたまりやすくなるので、灌漑に
は向いていますが、水がたまりやすくなる
のは、農業用水が確保しやすくなるので、
農業にもいいですね。また、九州には、
中国に近いことが、工業や観光に大きく
影響していることが分かりました。
S：中国に近いことが工業や観光
に大きく影響していることが
分かりました。
S：台風や火山はマイナス面だけ
でなく、プラス面もあること
が分かりました。

単元のまとめの例

指導のポイント

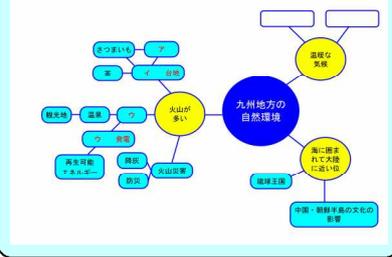
めあての設定

○今まで、たくさんの資料を活用
してきたので、その資料を活用
し単元の課題の結論をまとめら
れるようにする。

社会的事象を多面的・多角的に
捉えるための「図での整理」

○今までに活用してきた資料や教
科書にある関連図などを活用
し、この単元の学習を多面的・
多角的に捉えられるようにす
る。

九州地方の特色を自然環境に注目してまとめた関連図



話し合い活動の工夫

○PRポスターを発表に用いる中
で、今までの学習で用いた資料
の活用やキャッチコピーを考え
させ内容を端的に表すようにさ
せる。

単元全体の振り返り

○社会的事象について何を学んだ
かを全体で確認し学んだことを
共有し、その後一人一人に振り
返りをさせることで、自分との
関わりとして考えさせる。

社会科学学習指導案

平成30年6月～7月 第2学年 指導者 山本 誠

I 単元名 日本^の諸地域「九州地方」

II 学習指導要領上の位置付け

(3) 日本^の諸地域

自然環境を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本^の諸地域において、それぞれ自然環境を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

III 目 標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

九州地方の地形や気候などの地域的特色や、人々の生活や産業と自然環境との関わりについて理解し活用することができる。

イ (思考力、判断力、表現力等)

九州地方の生活や産業などの地域的特色を、地図や資料から読み取り、自然環境と関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

九州地方に関心をもち、その地域的特色を自然環境と関連付けて意欲的に追究しようとしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／6）

- ねらい 九州地方の地理的条件や気候、火山に関わる資料から概観を知るとともに、調べたいことや疑問点を話し合う活動を通して、地域的特色や地域の課題を追究する意欲をもてるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○九州地方の地形や気候など自然環境の特色がつかめるように、「世界の国々との位置関係」、「日本の中での位置」、「気候の特徴」などを見るように促す。</p> <p>○九州地方の自然環境に関する大まかな特色（「気候」「地形」「火山」など）をつかめるように、日本地図を活用する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>めあて 九州地方の自然環境に関わる資料を基にして、単元の課題を立てよう。</p> </div>			
<p>2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（25分）</p> <p>○共通点に気付くことができるように、群馬県にも火山があることを助言する。</p> <p>○生活にとってマイナス要素が多いことを想起することができるように、火山や台風などに関する新聞記事や画像資料などを提示する。</p> <p>○人々の日常の中に当たり前前に火山があることに気付くことができるように、九州地方の火山に関する資料（映像資料や火山の噴火回数の資料）を提示する。</p> <p>○火山があるという群馬県と九州地方の共通点と九州地方は身近な位置に火山があるという相違点に気付くことができるように、新聞や映像資料の資料を提示する。</p>			
<p>3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（10分）</p> <p>○疑問や調べたいことを発表することができるように、ホワイトボードなどを活用し内容をまとめさせておく。</p> <p>○発表内容の共通点や相違点を視点にしてキーワード化できるように、分類したり関連付けたりするよう助言する。</p>			
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）</p> <p>○キーワード化した生徒の発言を基に、単元の課題をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>九州地方の自然環境と生活や産業には、どのような結び付きがあるのだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>九州地方の自然環境の特色を捉えるとともに、調べたいことや疑問点を考え、単元の課題を記述している。＜ワークシート・発言（1）＞</p> <p>○火山以外にも、台風などマイナス要素が多いことに気付くことができるように、活用してきた資料を見るように促すとともに、人々が当たり前前に生活していることに気付くことができるように、映像資料などを提示する。</p> <p>☆九州地方は、周囲が海で囲まれアジアに近いという地理的条件や、温暖で火山が活発に噴火するという環境の中で、どのような生活や産業をしているのか明確にしたい。特に火山との関係については注目していきたい。</p> </div>			

V 本時の展開 (2/6)

- ねらい 火山や温泉数、災害情報、エネルギー開発などに関わる資料を基に、火山対策や活用を話し合う活動を通して、火山と共存して生活していることを理解できるようにする。
- 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(10分) ○本時の学習の方向付けができるように、前時の振り返らせるとともに、本時につながる資料(九州地方の地形図など)を提示する。 ○群馬県との共通点や過酷な環境の中で生活している点を把握するために、火山の資料、災害情報などを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 火山活動の影響を受ける中で、人々はどのような生活をしているのだろう。</div>			
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。(15分) ○生活へのプラス面とマイナス面という視点で整理することができるように、火山や温泉数、災害情報、エネルギー開発に関わる資料を提示する。			
3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。(20分) ○火山と暮らす人々が、火山と共存している理由や工夫について考えさせる。 ○考えを再構成できるように、各自が整理した資料を基に小グループで交流する場を設定する。 ○話し合われた内容を班でまとめることができるように、ホワイトボードを活用する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">火山への災害対策やその恵みを上手に活用した人々の生活の工夫について理解している。 <ワークシート・発言(4)></div>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(5分) ○本時の振り返りができるように、「分かったこと」「どのようにしたら解決できたか」「次の学習に向けて」という振り返りの視点を提示する。 ☆火山がもたらす影響について調べたら、組織的な対策を整備するとともに、その恵みを観光やエネルギーとして有効活用するなど工夫していることが分かった。			

V 本時の展開 (6/6)

1 ねらい 追究してきた学習内容を整理する活動を通して、自然環境を中核とした生活や産業の特色を理解できるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○めあてをつかむことができるように、今までの学習を振り返る場を設定する。 ○学習の見通しをもつことができるように、単元の学習課題の結論を考える時間を助言する。			
めあて 九州地方における単元の課題について、資料を活用し、分かったことや考えたことを整理しよう。			
2 学習してきたことを基に、一人一人が「単元の課題」に対する結論を考える。(20分) ○今までに活用した資料から、九州地方のまとめに必要な資料を整理させるとともに、四～五つ程度の資料を選択させ、キャッチコピーと詳細な説明を記述させる。 ○九州地方の特色を示す資料を、「地理的条件」、「気候」、「産業」、「地形」の観点から整理させる。 ○キャッチコピーを考えるために、追究の過程で学んできたことを振り返るように促す。			
3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。(20分) ○一人一人が作成した資料を小グループや学級全体で発表し合い、それを基に自分の出した結論について、補完、修正、深化させる。 ○他の人の発表を聞き自分の結論と比較することで、考えを再構成させる。			
複数の資料の中から、自分で必要とする資料を選択し、九州地方の生活や産業の特色を自分の言葉で表現している。<アピールポスター (2)>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(5分) ○それぞれが作成したキャッチコピーを基に話し合い、分かったことや気付いたことを基に、単元全体のまとめを板書する。 ○九州地方について「何を学んだか」「どのように学んだか」という視点に基づいて、単元全体の振り返りをするよう促す。 ☆九州地方の学習で用いた資料から必要なものを選択しまとめたら、火山などの自然条件に対して人々は恵みを生かしたり資源として利用するなどの工夫をしながら、生活や産業を成り立たせていることが分かった。きっと日本各地で同様のことが見られるのではないかと考えた。			

指導計画 社会科 第2学年 単元名『日本の諸地域「九州地方」』（全6時間計画）

目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>ア（知識及び技能） 九州地方の地形や気候などの地域的特色や、人々の生活や産業と自然環境との関わりについて理解し活用することができる。</p> <p>イ（思考力、判断力、表現力等） 九州地方の生活や産業などの地域的特色を、地図や資料から読み取り、自然環境と関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。</p> <p>ウ（学びに向かう力、人間性等） 九州地方に関心をもち、その地域的特色を自然環境と関連付けて意欲的に追究しようとしている。</p>		
評価規準	<p>(1) 九州地方に関心をもち、その地域的特色を自然環境と関連付けて意欲的に追究しようとしている。</p> <p>(2) 九州地方の生活や産業などの地域的特色を、自然環境と関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。</p> <p>(3) 地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした生活や産業を読み取り、まとめることができる。</p> <p>(4) 九州地方の地形や気候などの地域的特色や、人々の生活や産業と自然環境との関わりについて理解している。</p>		
過程	時間	☆振り返り（意識）	◇評価項目 〈方法・観点〉
つかむ	<p>1</p> <p>○九州地方の地理的条件や気候、火山に関わる資料から九州の自然環境の概観を知るとともに、調べたいことや疑問点を話し合う活動を通して、地域的特色や地域の課題を追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>九州地方の自然環境に関わる資料を基にして、単元の課題を立てよう。</p>	<p>☆九州は、周囲が海で囲まれアジアに近いという地理的条件や、温暖で火山が活発に噴火するという環境の中で、どのような生活や産業があるのか明確にしたい。特に火山との関係については注目していきたい。</p>	<p>◇九州地方の自然環境の特色を捉えるとともに、調べたいことや疑問点を考え、単元の課題を記述している。</p> <p>〈ワークシート・発言（1）〉</p>
<p>単元の課題 九州地方の自然環境と生活や産業には、どのような結びつきがあるのだろうか。</p>			
追究する	<p>2</p> <p>○火山や温泉数、災害情報、エネルギー開発等に関わる資料を基に、火山対策や活用を話し合う活動を通して、火山と共存して生活していることを理解できるようにする。</p> <p>火山活動の影響を受ける中で、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>☆火山がもたらす影響について調べたら、組織的な対策を整備するとともに、その恵みを観光やエネルギーとして有効活用するなど工夫していることが分かった。</p>	<p>◇火山への災害対策やその恵みを有効活用した人々の生活の工夫について理解している。</p> <p>〈ワークシート・発言（4）〉</p>
<p>3</p> <p>○シラスの分布、畜産や稲作に関わる資料を基に、代表的な農産物とその産地の関係を話し合う活動を通して、九州各地における農業用地の利用方法には特色があることを理解できるようにする。</p> <p>温暖な気候や火山活動の影響を受ける中で、どのような農業が発達しているのだろうか。</p>	<p>☆九州地方で生産量の多い農作物と生産地を調べたら、火山活動による地質や気候を生かした人々の工夫がさげられているとともに、地域ごとに農業の特色があることが分かった。</p>	<p>◇農作物が地質や気候の影響を受け、人々の工夫により生産されていること、また、それらによって九州の各地では特産物の特色が見られることを理解している。</p> <p>〈ワークシート・発言（4）〉</p>	
<p>4</p> <p>○九州を中心とした航空路・海路、福岡・成田の両空港の各国利用割合、北九州工業地域出荷額を基に、運輸と工業の関連を話し合う活動を通して、アジアとの利便性だけでなく、古くからの良港の多さや大陸との歴史的な関わりも九州の工業の発展に影響してきたことを理解できるようにする。</p> <p>九州地方の地理的特色は、工業をどのように発展させてきたのだろうか。</p>	<p>☆九州は、大陸に近いという地理的条件のよさだけでなく、穏やかな港が多いことや歴史的な関わりも影響して工業が発展してきたことが分かった。日本の他の地域にも同じような発展をした工業地域があるかもしれないと思った。</p>	<p>◇九州地方の位置、地形や歴史に関わる情報と九州地方の特色を考え、表現している。</p> <p>〈ワークシート（2）〉</p>	
<p>5</p> <p>○南西諸島の産業や住宅の造りに関わる資料を基に、それらと自然環境や世界やアジアにおける位置的な関わりを話し合う活動を通して、南西諸島の独特な文化や生活が形成されてきたことを理解できるようにする。</p> <p>九州の一部でもある南西諸島では、どのような生活や産業、文化の特色が見られるのだろうか。</p>	<p>☆南西諸島の人々の生活を調べたら、九州の離島である南西諸島は、また違った自然環境であったけれども、同じように人々が自然環境と相互に依存しながら、生活し、産業、文化の発展をとげてきたことが分かった。</p>	<p>◇資料から、南西諸島の人々の生活が自然環境や歴史から受けている影響を読み取り、整理している。</p> <p>〈ワークシート・発言（3）〉</p>	
まとめ	<p>6</p> <p>○追究してきた学習内容を整理する活動を通して、自然環境を中核とした生活や産業の特色を理解できるようにする。</p> <p>九州地方における単元の課題について、資料を活用し、分かったことや考えたことを整理しよう。</p>	<p>☆九州地方の学習で用いた資料から必要なものを選択しまとめたら、火山などの自然条件に対して人々は恵みを生かしたり資源として利用するなどの工夫をしながら、生活や産業を成り立たせていることが分かった。</p>	<p>◇複数の資料の中から、自分で必要とする資料を選択し、九州地方の生活や産業の特色を自分の言葉で表現している。</p> <p>〈アピールポスター（2）〉</p>

			きっと日本各地で同様のこ とが見られるのではないか と考えた。	
--	--	--	---------------------------------------	--